

農作業コツのコツ

【第9号】

令和7年6月14日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生・晩生

幼穂形成期まで間断かん水を行い、根に酸素を供給し、伸長を促しましょう。

「早生及びてんこもり」の生育は、茎数は平年並みからやや多くなっています。今後は、中干後の干しすぎない、適切な「間断かん水」を行いましょう。

「コシヒカリ」は生育がやや遅く、平年より茎数が少なくなっています。今後は、生育状況を確認し、遅れず中干しを開始し、干しすぎない適切な「間断かん水」で稲の健全化に努めましょう。

水稻の生育状況

(直播6月6日、移植6月10日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名		田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期予想	
		R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年
とみちから		5/ 3	5/ 3	35.1	39.2	21.2	22.6	8.7	9.2	4.5	4.4	(6/27)	6/24
五百万石		5/ 5	5/ 4	31.2	31.7	21.5	17.6	9.5	9.5	4.4	4.5	(6/26)	6/26
てんたかく81		5/ 4	5/ 4	29.5	32.1	20.6	18.7	8.9	8.6	4.3	4.4	(6/24)	6/26
コシヒカリ		5/14	5/14	27.4	30.3	11.6	14.6	7.3	7.6	4.3	4.2	—	7/10
てんこもり		5/11	5/ 9	25.6	27.7	20.4	19.1	8.3	8.4	4.4	4.4	—	7/13
密苗	てんたかく81	5/ 4	5/ 4	28.7	27.5	27.0	19.2	8.5	8.2	4.2	4.3	(6/24)	6/26
	コシヒカリ	5/19	5/16	22.9	27.6	7.3	12.6	6.0	7.1	4.0	4.2	—	7/13
	てんこもり	5/ 9	5/ 8	23.3	25.2	24.5	20.6	8.7	6.3	4.4	4.4	—	7/14
直播	カルパーコシ	4/26	4/30	22.3	25.1	92	88	5.9	6.4	4.3	4.2	—	7/13
	鉄コ コシ	5/ 5	5/ 2	15.3	19.2	33	47	4.9	5.4	4.1	4.1	—	7/18
	鉄コ てんこ	4/29	4/30	14.5	18.4	52	51	5.1	6.1	4.2	4.2	—	7/20

※てんたかく81の平年値はR4～R6年の値。※直播は、田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数(調査筆数：コシヒカリ(慣行苗のみ)2筆、カルパーコシ1筆、他2筆)

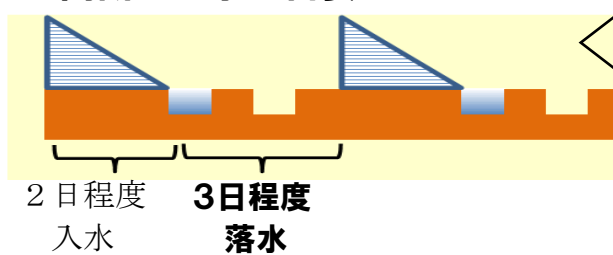
水稻

1 水管理

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81、てんこもり

- ①中干し後は間断かん水を徹底し、根に水と酸素を十分に供給しましょう。
- ②幼穂形成期までに足跡の深さが3cm程度となるよう、徐々に田面を固めましょう。
- ③葉色の急激な低下を防ぐため、乾かしすぎないようにしましょう。
- ④茎数の状況により、落水期間を調整しましょう。

◎間断かん水の目安



生育状況やほ場条件に応じて落水期間を調整しましょう。

落水期間長め(3～4日)	落水期間短め(2～3日)
・茎数が多い、葉色が濃い ・ほ場が乾きにくい ・中干しが不十分	・茎数が少ない ・ほ場が乾きやすい

(2) コシヒカリ、直播

- ①中干しの開始時期です。中干しは、数回に分けて徐々に干し上げ、田の中央部分にも軽く亀裂が入り、くるぶしが軽く沈む程度の土壌硬さまで行いましょう。

※茎数が少ないほ場は、中干しを遅らせましょう。

- ②中干し後は間断かん水を行いましょう。



中干し終了の目安
足跡10cm程度



一気に強く干さない

中生・直播

中干しは数回に分けて徐々に干しあげましょう。

今年も畦畔・雑草地等にカメムシ多発生しているので、水田内の除草と畦畔等の草刈りを徹底しましょう。

熱中症予防対策として、日中の気温が高い時間帯の作業を控え、こまめな水分や塩分補給を徹底しましょう。

2 穂肥施用

(1) とみちから

- ①**肥効調節体系**（基肥：LPs とみちから専用）の場合
 - ・原則、穂肥の施用は不要です。
 - ・ただし、**葉色4.2**を下回ったら直ちに**BB 穂肥 35 号**を**10kg/10a 施用**しましょう。
 - ②**分施肥体系**（基肥：基肥555）の場合
 - 1回目穂肥は幼穂長1mm頃**（5月3日田植えで6月25日頃）に施用しましょう。
- とみちからの穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目	3回目
	幼穂長1mm時	1回目の7日後	2回目の7日後
10a 当たり施用量 (BB 穂肥 35 号)	13kg	15kg	15kg

(2) 五百万石

- ①**肥効調節体系**（基肥：LPs 五百万石専用）の場合
 - 原則、穂肥の施用は不要です。
- ②**分施肥体系**（基肥：基肥555）の場合
 - 必ず幼穂長を確認し、**1回目穂肥は幼穂長10mm頃**（5月5日田植えで7月1日頃）の時期に施用しましょう。

(3) てんたかく 81

- 肥効調節体系**（基肥：Jコート早生専用）の場合
 - ①安易な追肥は倒伏を招くので、**原則、穂肥の施用は不要**です。
 - ②ただし、**葉色4.0**を下回ったら直ちに**BB 穂肥 35 号**を**7kg/10a 施用**しましょう。

3 雑草防除

残草がある場合は『営農とくらし』P58～65を参照し、除草剤の使用時期（収穫前日数）を確認して遅れずに散布しましょう。
（トドメバスMF液剤：ノビエ6葉期まで、バサグラン粒剤：収穫45日前までに散布。）

4 病害虫防除

- (1) **葉いもち、紋枯病**の病斑が見られたら、下表を参考に防除を行いましょう。
- (2) 紋枯病は、特に前年発生が多かったほ場で注意し、防除を徹底しましょう。

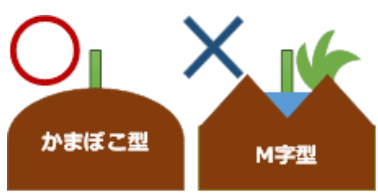
病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤 DL	病斑を見つけたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				60～150ℓ(1,000倍) 0.8ℓ(8倍)
紋枯病	バリダシン粉剤 DL	穂ばらみ期 (幼穂形成期から 10日後頃)	収穫14日前まで	5回以内	3～4kg
	バリダシン液剤 5				60～150ℓ(1,000倍)
	バリダシンエアー				0.8ℓ(8倍)

大豆

1 培土

- (1) **1回目の培土は、本葉2～3葉期（播種後20～25日後）に遅れず確実に**行いましょう。
- (2) 培土の効果を高めるため、培土は適期に2回行うとともに**株元まで土をかけ**ましょう。

◎培土の目安



M字型は、株元に水がたまりやすく、雑草も残りやすい

2 溝の手直し

培土後、**培土でできた溝を額縁排水溝および深く掘り下げた排水溝に連結し**、雨水が長時間停滞しないようにしましょう。